

IV 子ども読書活動推進のための様々な取組

実践① 始良市立加治木幼稚園親子読書会ぐるんば

1 はじめに

本園は、園児数 64 人、学級数 3 学級(年少・年中・年長)の公立幼稚園である。始良市加治木町にあり、始良市立柁城小学校に隣接している。周辺には、始良市立加治木図書館、郷土館、椋鳩十文学記念館があり、文化的に恵まれた環境にある。

今からおよそ 37 年前、当時の園長先生の呼びかけで幼稚園の役員を中心に読書会が立ち上がった。発足当初は、読み聞かせの会ではなく、家庭での親子読書をどう取り組むかを学ぶ勉強会のようなものだった。会員は、互いに本の紹介をし合ったり、子ども読書についての新聞記事をみんなで回し読みしたりして情報交換をしていた。やがて、家庭での読み聞かせアンケート調査を行う中で、教育現場での読み聞かせの必要性を実感し、幼稚園での様々な読み聞かせ活動へと発展していった。

現在では、有志の保護者によって読み聞かせ活動を行い、親子読書活動の推進に努めている。このたび、県読書推進運動協議会から「優良読書会グループ」として表彰を受けた。

2 主なグループの活動

(1) お話会の取組

- ・ 4月と8月を除く毎月末、絵本・紙芝居等の読み聞かせや手遊び歌、ペープサートやブラックシアター等をお話会で実施している。
- ・ 会員は現在 15 人。毎月担当者を決めて、本の選定や読み聞かせ内容の計画を分担して実施している。打合せと練習を兼ねて、月に 1, 2 回集まっている。

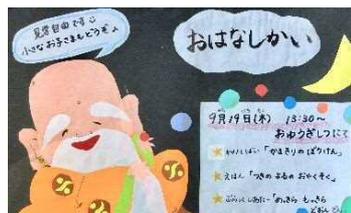
	内容	備考
事前準備	<ul style="list-style-type: none"> ・ 月別担当者を決め、担当者 2, 3 人が主体となってお話会の内容を決める ・ 読み物の準備 ・ 打合せ場所(研修室)の予約 ・ お話会のポスターを作成する 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 聞き手の興味に合わせて選ぶ ・ 読み物は図書館から借用したり、手作りしたりする ・ 内容は季節や行事なども考慮する ・ 園門掲示板に掲示し、会員以外の保護者にも内容を周知する
打合せ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 読み聞かせの役割分担をする(会員みんなで分担する) ・ 練習をする ・ 必要な小道具を作る 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 図書館付属の研修室を使用 ・ 所要時間はおよそ 1～2 時間
お話会 (本番)	<ul style="list-style-type: none"> ・ ぐるんばの歌で子どもたちを出迎える(ピアノ演奏に合わせて) <li style="text-align: center;">↓ ・ お話会(20～25分程度) <li style="text-align: center;">↓ ・ おわりの歌で子どもたちを見送る <li style="text-align: center;">↓ ・ 反省や次月の連絡を行う 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 園内おゆうぎ室にて(11月のみグループに分かれ各教室で行う) ・ 手遊びやダンス、ピアノの伴奏や効果音を入れることもある ・ 季節に合った雰囲気作りにも努める(ハロウィンやクリスマスなど)

(2) ぐるんぱだよりの発行

年に2, 3回「ぐるんぱだより」を発行。読み聞かせに使用した本の紹介や活動内容を紹介する目的で、全保護者に配布している。読書会での子どもたちの反応を伝えたり、おすすめの本のアンケートを集計し紹介したりするなどして、家庭での読書活動へのきっかけづくりに役立つよう心掛けている。

(3) プレゼント作り

年度初めの5月の読み聞かせでは、手作りのプレゼントを作成し、おわりの歌で見送る時に子どもたちに渡す。また、3月の最終回では卒園児に手作りのしおりをプレゼントする。これらの活動はグループの紹介や記念、思い出作りとして取り組んでいる。



【お話会のポスター】



【プレゼント作りの様子】

3 取組の成果

- (1) 月1回のお話会を園児がとても楽しみにしてくれている(先生や保護者からそのような声が多く寄せられる)。
- (2) お話会で聞いた内容を家で話したり, 出てきたせりふをまねたり, 歌や踊りを友達と遊びの中に取り入れたりして, 後々までお話の世界を楽しんでいる。
- (3) ぐるんぱで読んだ本を園児が図書館や書店で見つけると, 手に取ったりもう一度読みたがったりし, 親子で本に親しむきっかけづくりに役立っている。
- (4) 子どもたちが絵本に興味をもつことで, 親も一緒に図書館に通う姿が多く見られるようになってきた。
- (5) 活字にふれる機会をもつことで, 文字に興味関心を持った, 絵本交換(園での活動)を楽しみにしたりしている子どもが増えてきた。
- (6) 会員が楽しんで活動している様子を見て, お話会を見に来てくれる保護者も増えてきた。



【クラスでの読み聞かせ】



【おゆき室での読み聞かせ】

4 おわりに

今後も、読み聞かせを通じて子どもたちに本の世界の面白さを伝え、一緒に楽しんでいきたい。幼児期という心の土台をつくる大切な時期に、子どもたちの豊かな感性と情操を育む手伝いをしていきたい。



【ぐるんぱの仲間たち】